

2020年度 第1四半期 決算のご説明

(2020年4月1日～2020年6月30日)

市場動向にリニアに対応する経営を展開
1Qは想定内の赤字、2Qから実需に合わせて徐々に好転
年度末に向けて回復を見込む

2020年7月31日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 佐谷 紳一郎

Value by Connecting **HTK**

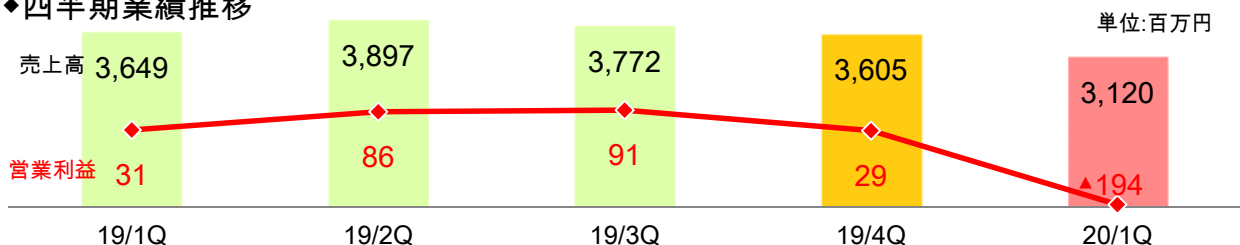


1-1. 新型肺炎発生からの取組み

新型肺炎の発生後、市場動向を注視し、先手対応
実需に対し、リニアに動ける体制へ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
市場顧客	中国で感染拡大 ⇒ 各国に拡大 ⇒ 日本 緊急事態宣言 ⇒ 第2波の懸念					
	中国の経済活動が停滞		国内の経済活動が停滞			
	カーメーカ / 顧客工場の操業停止、新車販売の急減					
				パニック的な動き 生産減・生産計画不変・在庫積上げ等	受注急減 (生産/在庫調整)	
	動向注視			実需にリニアに対応へ		
HTK	深圳工場 操業停止 操業再開に注力		方針 体質をリーンにし、 変化に俊敏に対応			
	生産・販売の抑制、休業対応 (SCの在庫圧縮、CFの確保、雇用の維持、感染対策)					

◆ 四半期業績推移



Value by Connecting **HTK**



1-2. 20/1Q業績

実需の急減を予測し、早期から生産・販売を抑制
 想定内の赤字、現金残高に不安なし(50億円)

単位:百万円、()内 利益率

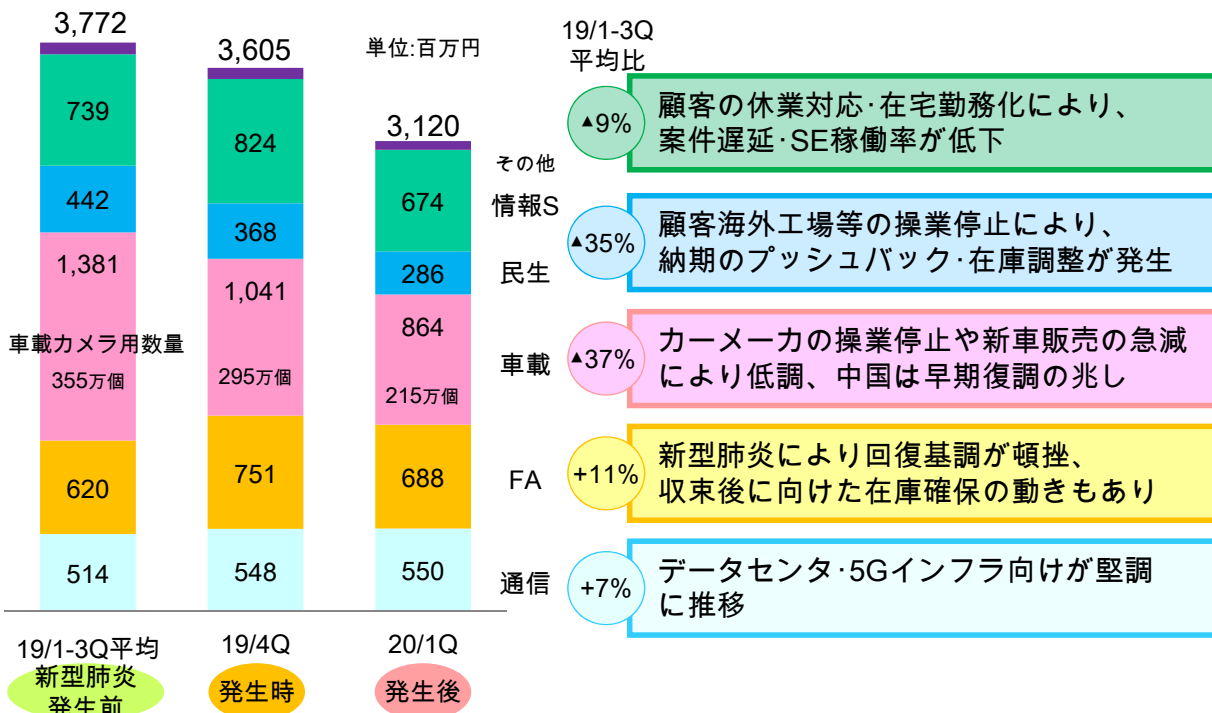
為替:期中平均	19/1Q 1\$=110円	20/1Q 108円	前年比	コメント
売上高	3,649	3,120	▲15%	受注急減を予測し、 敢えて生産・販売を抑制
営業利益	31 (0.8%)	▲194 (▲6.2%)	—	コネクタ事業の減販損 稼働率低下
経常利益	6 (0.2%)	▲63 (▲2.0%)	—	+ 雇用調整助成金の利用 + 為替差益(パーツ高)
純利益	27 (0.7%)	▲53 (▲1.7%)	—	

Value by Connecting **HTK**



2-1. 20/1Q分野別の売上状況

カーメーカ/顧客工場の操業停止や需要減など、
 新型コロナウイルスの影響が本格化

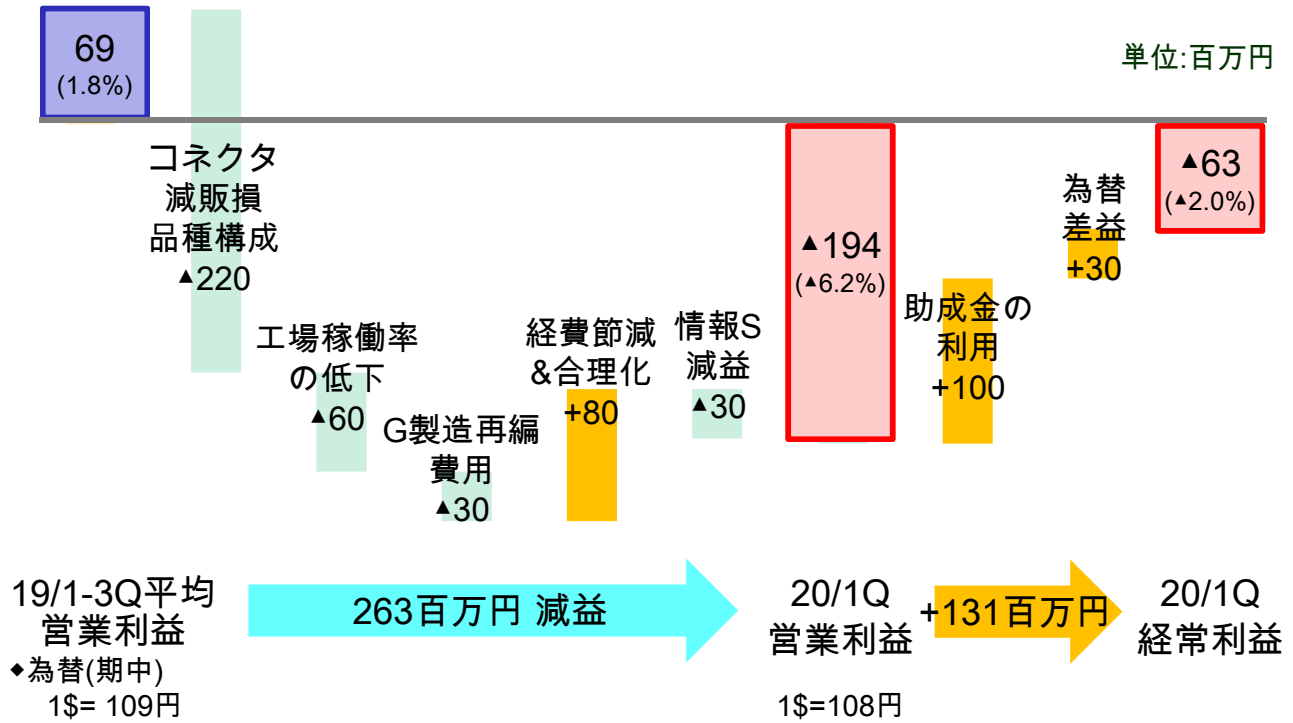


Value by Connecting **HTK**



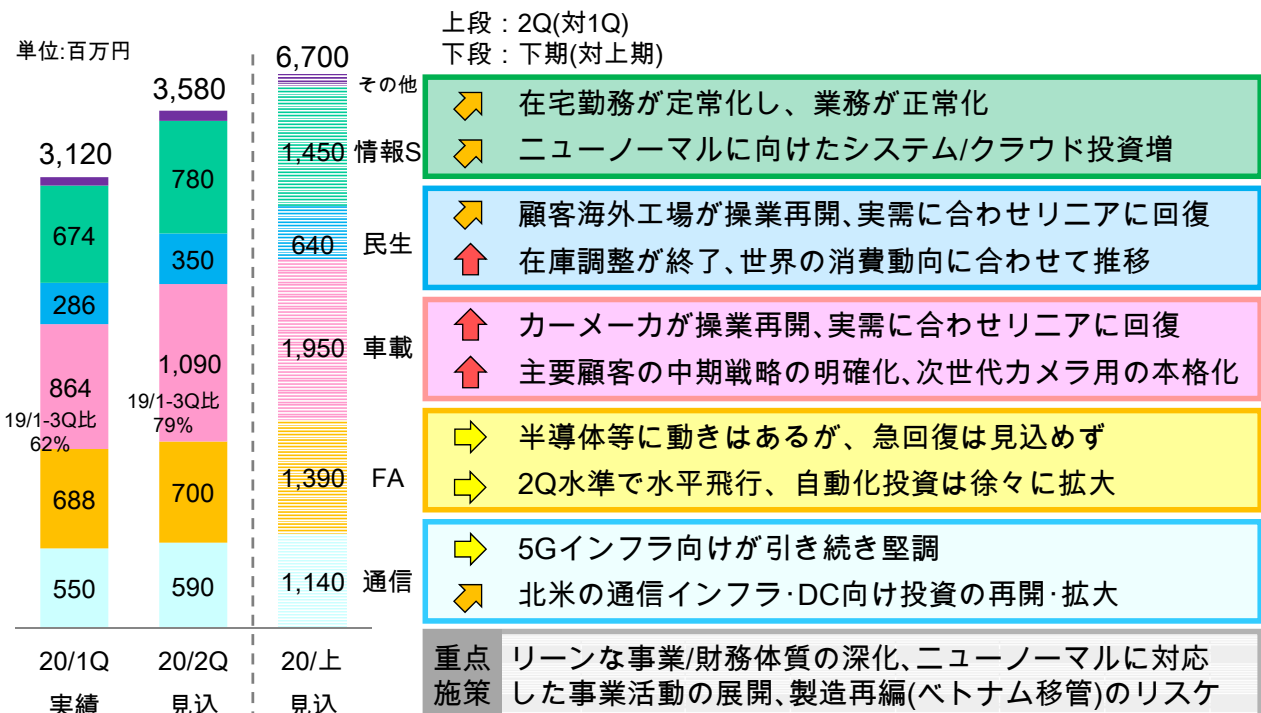
2-2. 20/1Q営業利益の新型コロナウイルス前比較

減販損と稼働率の低下により減益
助成金の利用で経常利益の赤字幅を縮小



3-1. 市場動向と今後の取組み

新型コロナウイルスの収束予測が困難な状況下、
市場別・個社別の動向を注視し、臨機応変かつ俊敏に動く





3-2.業績予想

2Qは15%増販(1Q比)、収支均衡を狙う

◆上期業績予想

単位:百万円、()内 利益率

為替:期中平均	20/1Q 1\$=108円	2Q 予想 107円	前年比	20/上 予想 107円	前年比
売上高	3,120	3,580	▲8%	6,700	▲11%
営業利益	▲194 (▲6.2%)	▲30 (▲0.8%)	—	▲224 (▲3.3%)	—
経常利益	▲63 (▲2.0%)	0 (0.0%)	—	▲63 (▲0.9%)	—
純利益	▲53 (▲1.7%)	0 (0.0%)	—	▲53 (▲0.8%)	—

◆通期業績予想

売上高140億円前後を想定

依然として不確定要素が多く、合理的な見積もりは困難
⇒ 配当と合わせ、中間決算での公表を予定(2020/10/28)

Value by Connecting **HTK**



HTK

IRに関するお問い合わせ先

本多通信工業株式会社

経営企画グループ

TEL : 03-6853-5820

URL : <https://www.htk-jp.com/>

HTK 検索

Value by Connecting **HTK**



参考.コネクタ事業 連結受注推移

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2020年度 前期比	-10	-	-	-	-
前年同期比	-18	-	-	-	
1\$=	108円				

2019年度 前期比	+4	-1	-3	-4	-14
前年同期比	-20	-16	-12	-5	
1\$=	110円	107円	109円	109円	109円

実勢為替レートで算出

Value by Connecting **HTK**



HTK

Value by Connecting

つなぐ喜び、創る感動

Value by Connecting **HTK**